

令和 9 年度当初予算編成方針の骨子

～ みんなの声を未来につなぐ その先の江東区へ ～

【予算編成の基本方針】

日本経済の先行きについて、7月の月例経済報告では「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。」などとされている。

本区の歳入の根幹を成す特別区税や特別区交付金は、近年堅調な推移を見せているが、ふるさと納税や国の税源偏在是正措置による減収に加え、長引く物価上昇や不安定な国際情勢の影響等により景気の先行きは不透明であり、今後の歳入環境を楽観視することはできない。さらに、物価上昇は行政サービス全般の経費を増大させており、本区を取り巻く財政環境は予断を許さない状況にある。

また、少子高齢化の進行による社会構造の変革や自然災害の激甚化・頻発化、AIの進化、物価上昇の長期化など、本区を取り巻く環境はかつてない速度で変化しているが、こうした中にあっても、常に区民一人ひとりの声に真摯に耳を傾けながら、より良い区政の実現に向けた挑戦を重ねてきた。

その結果、変化と発展を続ける新たな江東区の姿が創られつつあり、今後もこれまで積み重ねてきた歩みをさらに進めるための区民サービスの充実やまちづくりの推進に取り組んでいくことが求められている。

令和 9 年度は、「江東区長期計画（後期）」の中間年度として、これまで積み重ねてきた成果をさらに発展させるとともに、本計画に掲げる「目指す姿」や区民の笑顔あふれる江東区の実現に向けて、社会の急激な変化と、変化に伴う新たな課題を職員一人ひとりが正面から受け止め、柔軟な発想とチャレンジ意識を持って、より実効性のある取組みを推進しなければならない。

そこで、令和 9 年度予算は「みんなの声を未来につなぐ その先の江東区へ」をテーマに掲げ、下記の方針に基づき編成する。

1. 区民とともに未来を創る施策の展開

変化と発展を続ける新たな江東区を創るため、区民の声に丁寧に耳を傾けるとともに、職員一人ひとりが柔軟な発想とチャレンジ意識を持ち、社会の変化や新たな課題を踏まえた施策を展開していく。

2. 喫緊の課題に対する取組みの強化

激甚化・頻発化する自然災害に対する防災・減災対策の強化や少子化対策、区民サービス向上や業務効率化等を目的としたDX・AXの推進に重点的に取り組むなど、区政を取り巻く課題に的確に対応しながら、将来を見据えた実効性の高い取組みを推進する。

3. 財源の確保と持続可能で強靱な財政基盤の構築

不断の事業見直しや再構築により、新たな施策展開の財源確保に努めるとともに、既存事業についても必要性や効果を十分に検証し、より効果的・効率的な手法を積極的に取り入れる。また、行財政改革計画の着実な推進や経費節減の徹底、新たな歳入確保策の推進などに取り組み、歳入歳出の両面から持続可能で強靱な財政基盤を構築する。